

【報道関係各位】

## 防災意識に関する定点調査 ～東日本大震災から4年。防災意識はどう変わったのか～

- 自分が被災する可能性が高いと思う災害  
「地震」87%、「台風」84%、「大雨・洪水」78%
- 災害が「起こると思う」予想率、災害を「意識している」率が高い地方は？  
トップ3は東北、関東、近畿。地震に対する意識は東北・関東で8割強
- 被災地の復興状況「関心がある」67%、昨年比で7ポイント減少  
震災に対する意識は年々希薄傾向に

2015年2月12日  
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表執行役：小西克己）は、全国20～69歳の男女を対象に、「防災に関する調査」を実施しました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は2015年1月27日（火）～1月28日（水）。有効回答数は全国で1,035名から得られました。

【調査のねらい】

2013年と2014年の2月に、マクロミルは東日本大震災に関するデータ集『震災白書』を発表いたしました。ここでは、2011年に起きた東日本大震災の被災地の現状と被災者の心境を把握するとともに、被災地以外の地域に住む人達の意識や生活変化を調査しました。

東日本大震災から4年を迎える今年は、人々の防災に対する意識を調査しました。また、東日本大震災に関する情報は以前に比べてどう変化しているかについてもまとめています。マクロミルでは東日本大震災を風化させないために、また復興への足かりとなるデータとして、今後も本調査を継続的に実施し蓄積していく予定です。

【調査概要】

調査方法 : インターネットリサーチ  
 調査対象 : 全国、20～49歳の会社員、公務員の男女（マクロミルモニタ会員）  
 有効回答 : 合計 1,035 サンプル  
 調査実施期間 : 2015年1月27日（火）～1月28日（水）  
 調査機関 : 株式会社マクロミル

【詳細レポート】

[http://www.macromill.com/r\\_data/20150212bousai/index.html](http://www.macromill.com/r_data/20150212bousai/index.html)

－ 調査結果の引用・転載等に関するお問い合わせ先 －

株式会社マクロミル 広報室：高橋

TEL：03-6716-0707 MAIL: [press@macromill.com](mailto:press@macromill.com)

URL：<http://www.macromill.com/>

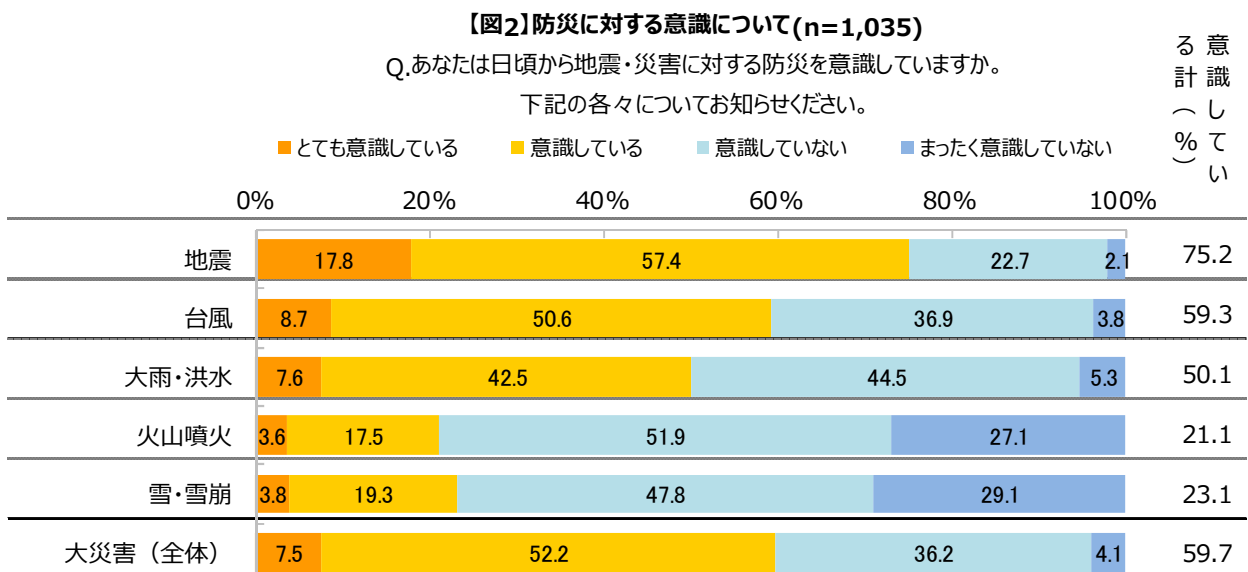
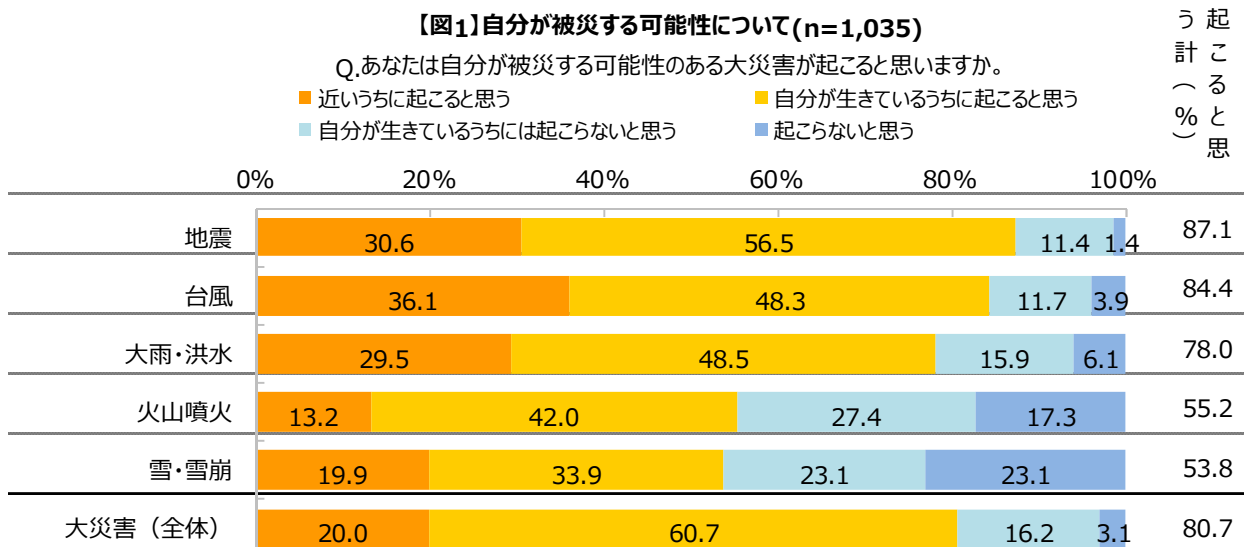
【調査結果詳細】

I-1 被災・防災に対する意識

- 自分が被災する可能性が高いと思う大災害「地震」87%、「台風」84%、「大雨・洪水」78%
- 被災する可能性が高いと考えるも、防災に対する意識は「地震」75%、「台風」59%、「大雨・洪水」50%

東日本大震災から4年を迎えようとしている現在、被災・防災に対してどのように意識しているか尋ねました。自分が被災する可能性がある大災害が「起こると思う」（近いうちに起こると思う+自分が生きているうちに起こると思う）と回答した人は、「地震」が最も多く87%、次いで「台風」84%、「大雨・洪水」78%でした。被災する可能性がある大災害が何かしら起こると考えている人は81%にのぼることがわかりました。【図1】

また、日頃から地震・災害をどの程度意識しているか尋ねたところ、「地震」を「意識している」（とても意識している+意識している）と回答した人が最も多く75%、次いで「台風」で59%、大災害全体で60%となっています。大震災で被災する可能性が高いと考えている割合に対して、防災に対する意識は低いことがわかりました。【図2】



I-2 地方別にみた各災害の予想率・意識率

■ 災害が「起こると思う」予想率、災害を「意識している」率が高い地方は？  
 トップ3 は東北、関東、近畿。地震に対する意識は東北・関東で 8 割強

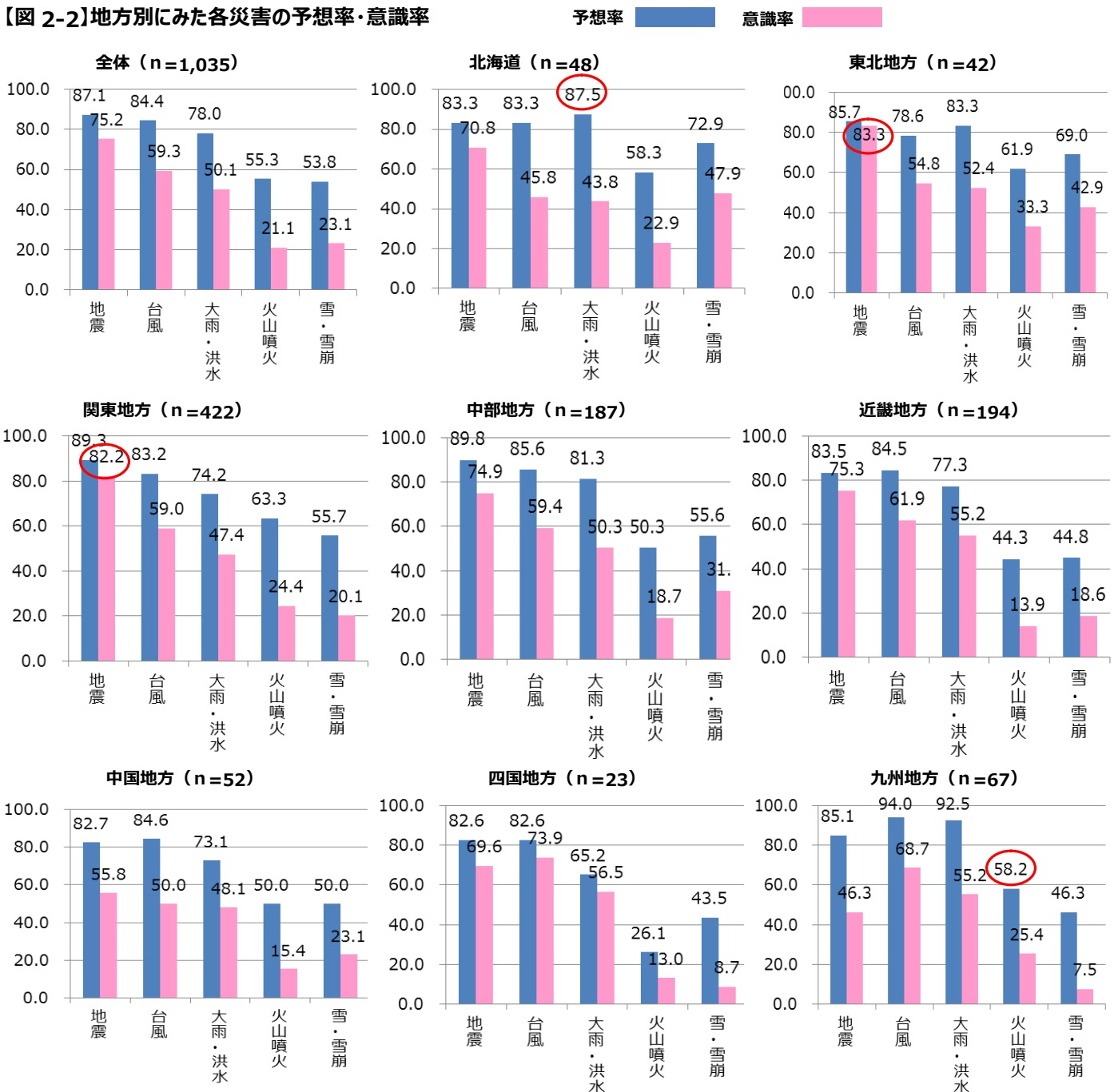
地方別に各災害について比較してみました。東日本大震災を経験したためか、東北地方における地震の予想率は86%、意識率は83%、関東地方も予想率89%、意識率82%と比較的高くなっています。一方、中国地方、九州地方は予想率が80%以上となっていますが、意識率は50%前後と比較的低くなっています。

北海道では大雨・洪水、台風はいずれも予想率が80%以上となっていますが、意識率は40%台と低くなっています。北海道は台風の経験が比較的少ないためか、普段の台風に対する意識は低いようです。

また九州地方では、火山噴火の予想率が58%と他地区に比べ高くなっていますが、意識率は25%と低くなっています。九州は火山活動が活発な地方ではありますが、発生頻度が低い災害のためか、普段の火山噴火に対する意識は低いようです。

【図 2-2】

【図 2-2】地方別にみた各災害の予想率・意識率



※予想率：各災害が「近いうちに起こると思う」もしくは「自分が生きているうちに起こると思う」と回答した割合  
 ※意識率：各災害を「とても意識している」もしくは「意識している」と回答した割合

### I-3 地震・災害に対する備え

#### ■ 地震・災害への備え「日用品・水・食料品」が44%で最多、次いで「保険加入」が39%

地震や災害に対する備えとして、どのようなことを行っているかを尋ねました。

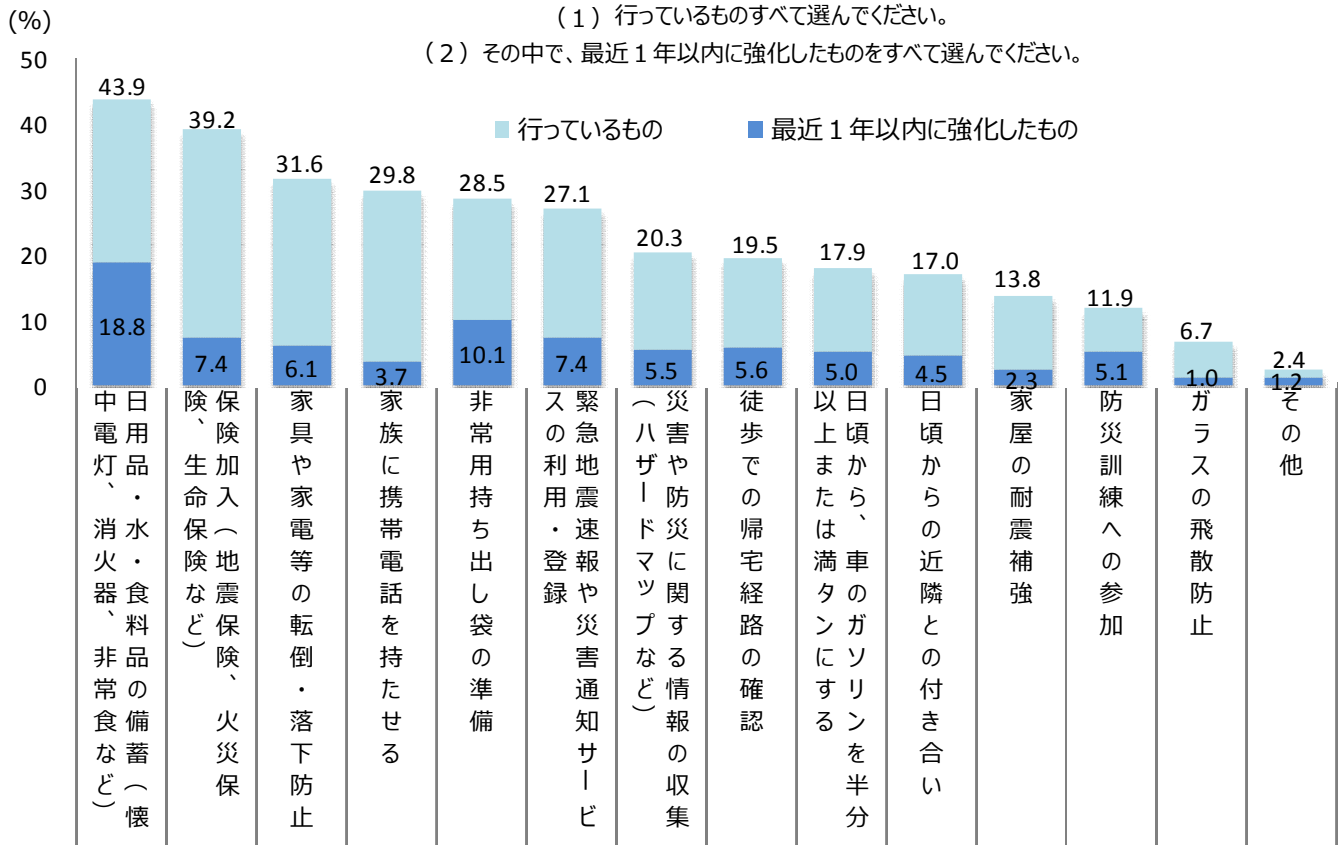
行っていることでは「日用品・水・食料品の備蓄」が44%で最多、次いで「保険加入」が39%となりました。また、最近1年以内に強化したものとしても「日用品・水・食料品の備蓄」が19%で最多となっています。【図3】

【図3】地震・災害に対する備え

Q.あなたは、地震・災害に対する備えとして、どのようなことを行っていますか。

(1) 行っているものすべてを選んでください。

(2) その中で、最近1年以内に強化したものをすべてを選んでください。



**Q. 災害や防災に対して、あなたのご意見・お気持ちなどを自由にお書きください。**

- ・対策をしようとは心がけても、どこか他人事の気持ちがあり、なかなか対策を講じることができない。【北海道・男性・22 歳】
- ・大きな災害なんて滅多に地元じゃ起こらない。台風が来て警報が出てもそれほど身の危険は感じない。近くの河が増水して溢れたら大変なことになるのはわかるが、実感がわからない。どうしても、ここだけは大丈夫とってしまう。【奈良県・男性・22 歳】
- ・実際問題、保存食を買って一時期は持ち歩いてしたが、邪魔になり今では家にある。飲み水もしっかり準備しているが、3.11 よりも被害が大きになると、備蓄したもので足りるかどうかが、はなはだ疑問。【神奈川県・男性・27 歳】
- ・災害は突然やってくる家族との待ち合わせ場所と、最低限の防災グッズの準備は必要だと思います。被災地の風評被害防止のため、メディアも協力が必要と考えます。【京都府・男性・32 歳】
- ・いつ何時発生するか分からないので、防災グッズの備えと、避難場所の確認と家族との連絡手段などを徹底している。【埼玉県・男性・36 歳】
- ・一人では限界があるので自治体を中心として日ごろから訓練が必要。公立学校の避難所としての施設の補強、トイレの増設、避難宿泊利用を想定した広さの確保などが必要。【愛知県・男性・53 歳】
- ・阪神淡路大震災をきっかけに、飲料、食料、トイレトーパー、ティッシュペーパー等の備蓄を始め、常に買い増して古い物から消費するようにしています。東日本大震災の時には飲料水、トイレトーパー、ティッシュペーパーが近所のスーパーから無くなりましたが、わが家の備蓄から東北への援助に加えてもらいました。最近では、電気が無くても明かりと熱を取れるようにと対流型灯油ストーブ、携帯トイレ 300 回分とトイレ用のテントも備蓄に加えました。これだけ準備していれば震災は来ないと信じています。【三重県・男性・60 歳】
- ・東日本大震災時、同じ被災地岩手でも内陸部は電気が止まったせいか何が起きているのか全くわからない状況で、ラジオのニュースだけが頼りでした。以後フルセグが視聴できるスマホに換え、いざという時の最低限情報を得られるようにしています。【岩手県・女性・39 歳】
- ・東日本大震災のあとから他人ごとではないと思っても、実際何をしたらいいのかよく分からない。食料や日用品を備蓄したりはしている。【神奈川県・女性・41 歳】
- ・日本ではいつでもどこで地震が起きてもおかしくない。火山噴火や津波なども他人ごとではない。だからこそどのようなことに気を付け、どのように災害に立ち向かえばいいのかという情報をもっと欲しい。防災の日や震災が起こった日だけでなく、日ごろからもっと身を守るためにはどうしたらいいのかということを当たり前のように毎日発信してほしい。常に震災は身近なものだと子供から大人まで自覚する必要があると思うから。【愛知県・女性・45 歳】
- ・自然災害は起きることは防ぎようがない。いかにして事前に準備をして起こったときに最低限の被害に抑えることが重要だと思う。また災害時の政府・自治体の対応、ハザードマップを事前に作成し災害に備えることが重要だと思う。【愛知県・女性・61 歳】

## II-1 メディア接触

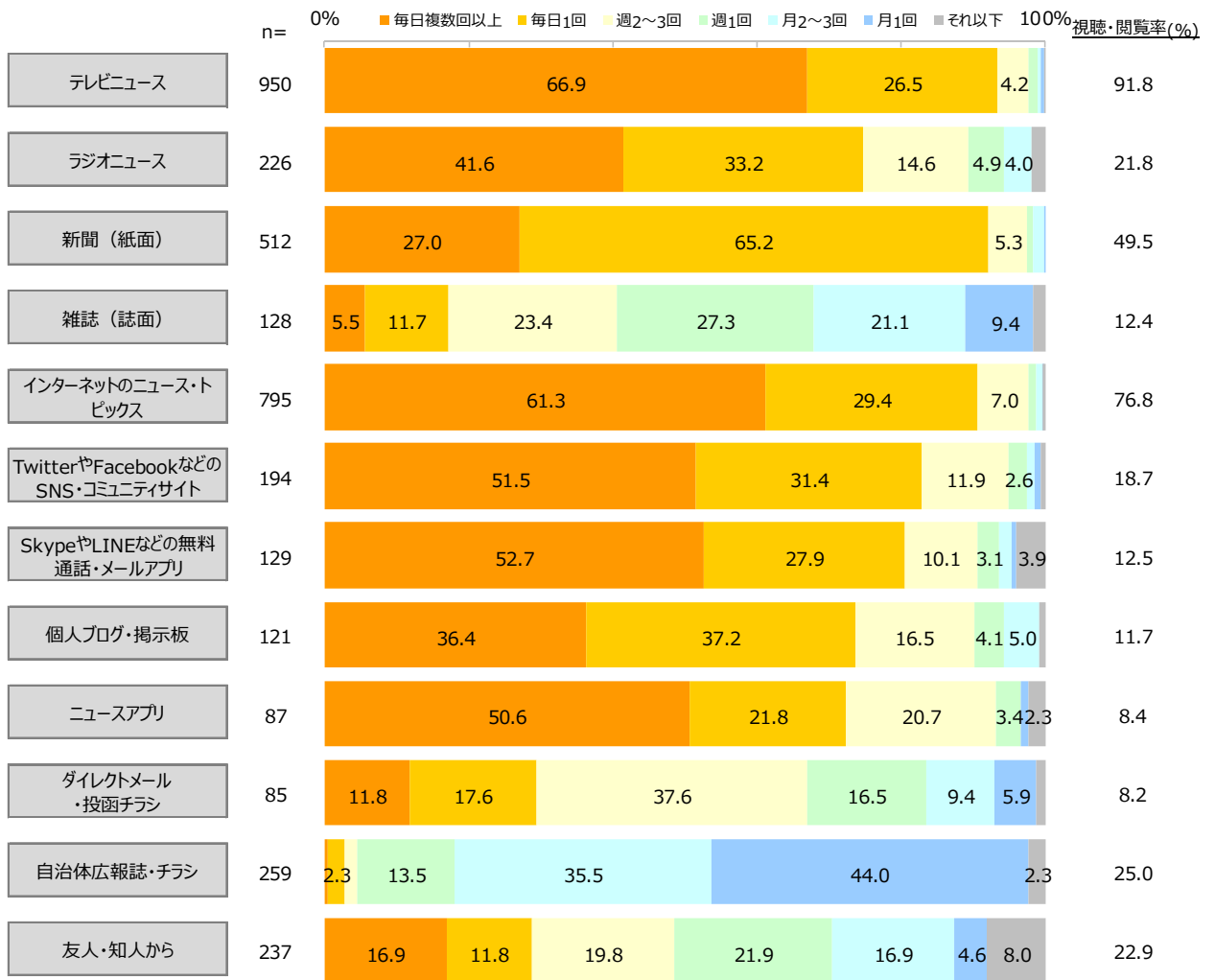
### ■ 普段視聴しているメディアは「テレビニュース」、視聴・閲覧率は92%

下記の各メディアを視聴・閲覧している人を対象に、普段のメディア接触状況について尋ねました。「テレビニュース」の視聴・閲覧率は92%、さらに“毎日複数回以上見る”と回答した人は67%となっていることから、テレビニュースの影響力の大きさがうかがえます。

また「インターネットのニュース・トピックス」も視聴・閲覧率が77%、“毎日複数回以上見る”と回答した人も61%となっており、テレビニュースに次ぐ影響力が推測できます。【図4】

【図4】メディア接触

Q.あなたは次にあげるような情報に普段どの程度接触していますか。  
それぞれについて近いものをお選びください。(単一回答)



※各メディアの視聴・閲覧者ベース  
※2%未満のスコアは非表示

(基数は1,035)

## II-2 災害発生時に注目している情報源

### ■ 震災発生時に注目している情報番組は「テレビニュース」

震災・災害発生時に注目している情報源は何かを尋ねました。

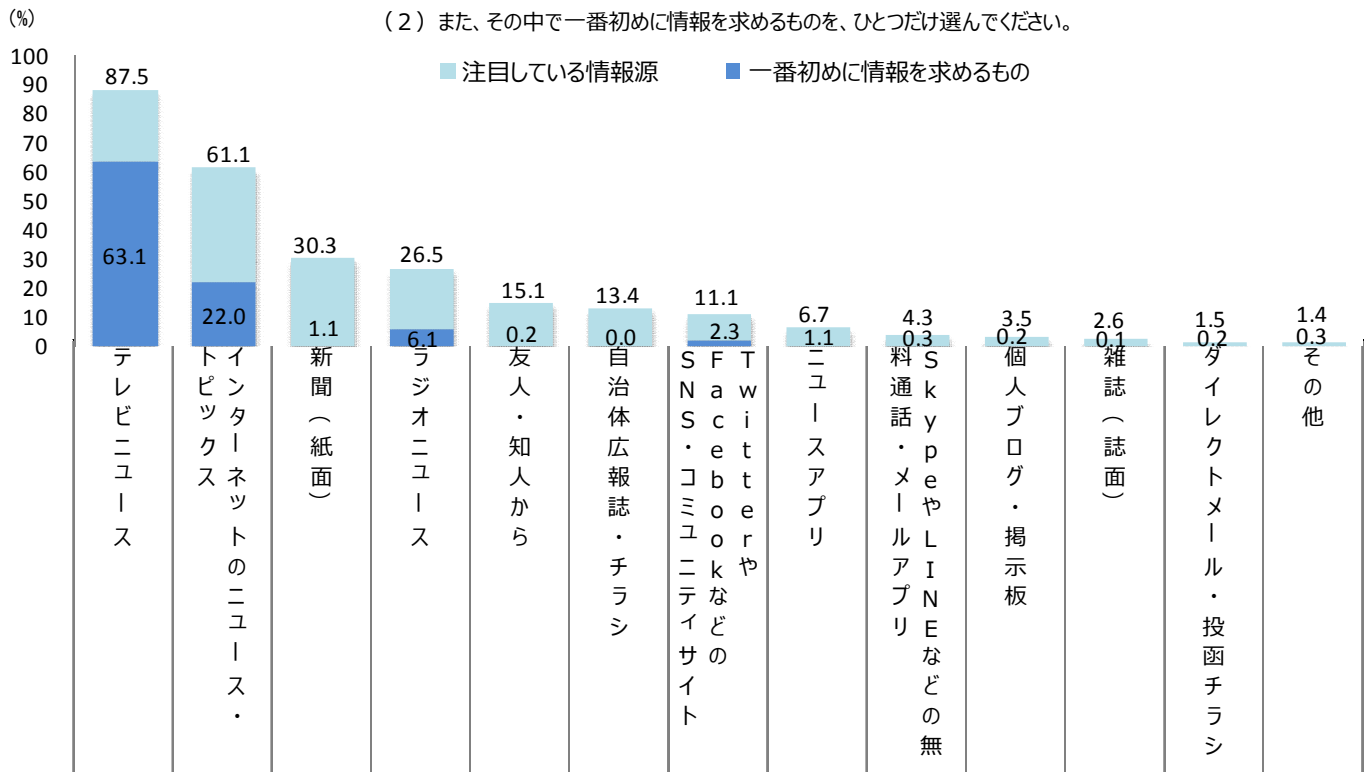
注目している情報源では、「テレビニュース」が 88%で最も高く、次いで「インターネットのニュース・トピックス」が 61%となりました。

また、一番初めに情報を求めるものとしても「テレビニュース」が 63%で圧倒的に高く、次いで「インターネットのニュース・トピックス」が 22%となっています。【図 5】

【図5】震災発生時に注目している情報源

Q (1) 地震・災害発生時に注目している災害／防災情報源として、あてはまるものすべてを選んでください。

(2) また、その中で一番初めに情報を求めるものを、ひとつだけ選んでください。



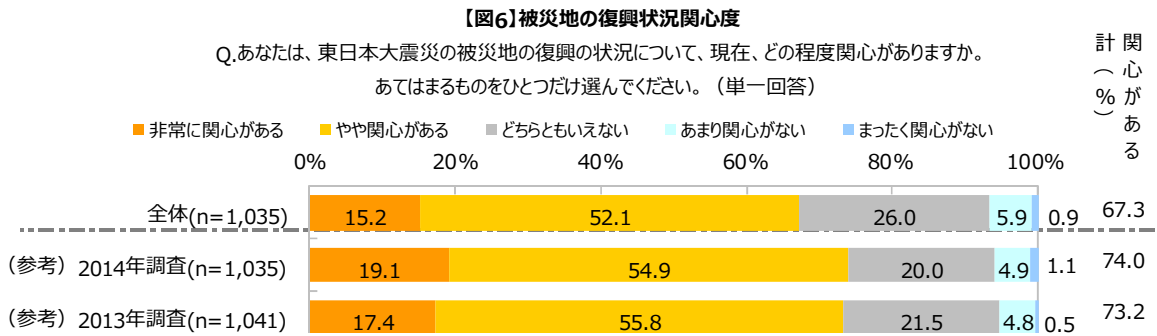


### Ⅲ-1 被災地の復興状況関心度

#### ■ 被災地の復興状況「関心がある」67%、昨年に比べ7ポイント減少 震災に対する意識は年々希薄傾向に

被災地の復興状況について、現在どの程度関心があるかを尋ねました。

「関心がある」（非常に関心がある＋やや関心がある）と回答した人は 67%となりました。昨年の調査と比較すると、関心があると回答した人は 7ポイント減少しており、被災地の復興に対する関心が低くなっていることが推察されます。【図 6】

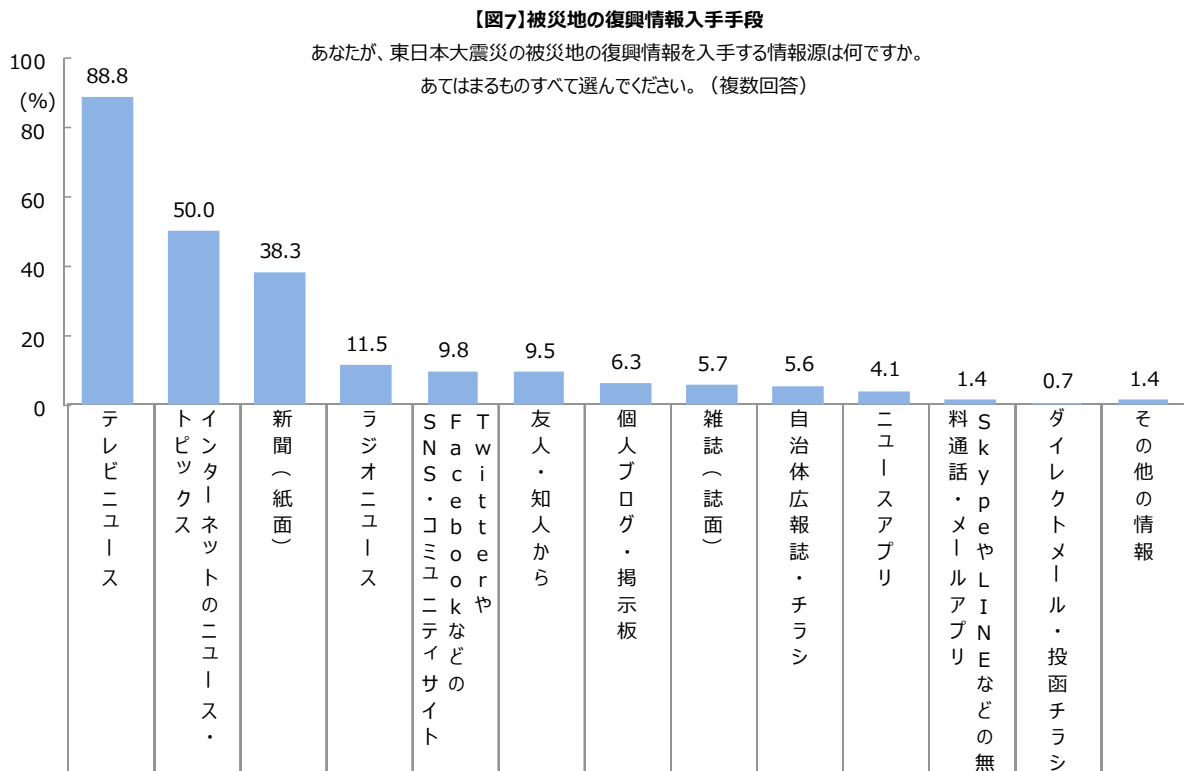


### Ⅲ-2 被災地の復興情報入手手段

#### ■ 被災地の復興情報入手手段、トップは「テレビニュース」

東日本大震災から約 4 年が経過し、復興情報を入手する情報源は何か尋ねました。

「テレビニュース」で 89%、次いで「インターネットのニュース・トピックス」50%、「新聞」38%となりました。【図 7】



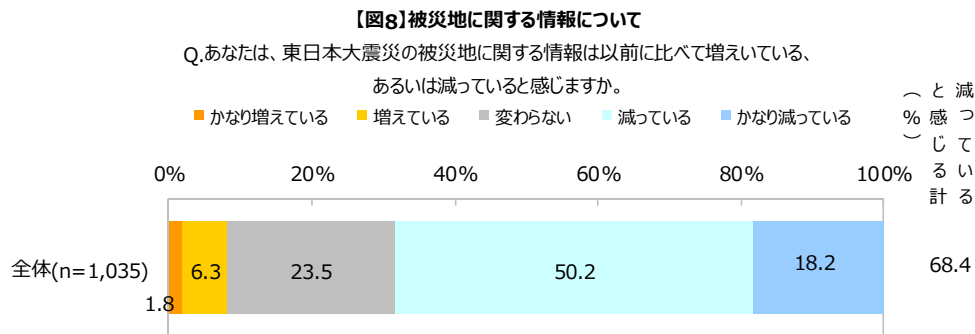


### Ⅲ-3 東日本大震災に関する情報の増減について

#### ■ 東日本大震災に関する情報、7割の人が以前に比べ「減っている」 9割以上の人が、「テレビニュース」で情報が減っていると感じている

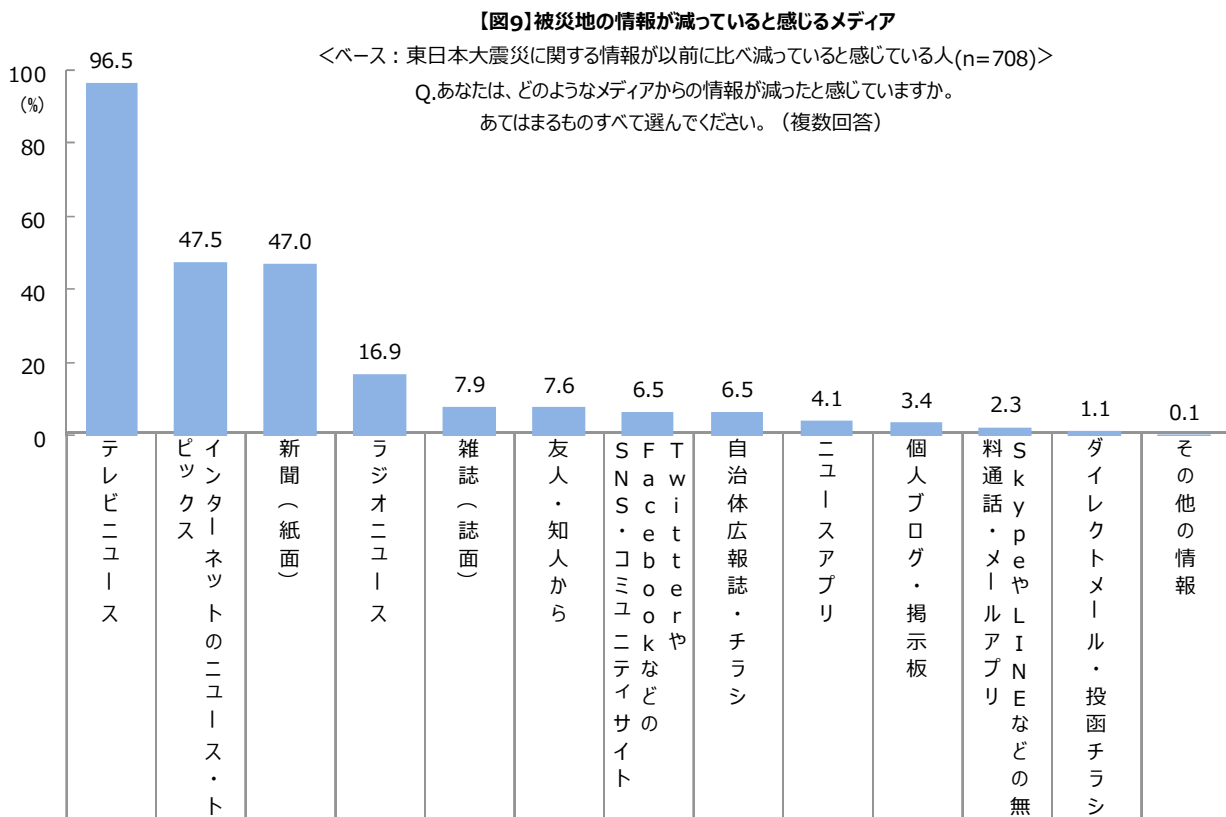
東日本大震災に関する情報が以前に比べ増えている、あるいは減っていると感じているか尋ねました。

「減っている」（かなり減っている＋減っている）と感じている人は68%と約7割の人が減っていると感じていることがわかりました。【図8】



さらに、減っていると回答した人に、どのようなメディアからの情報が減っていると感じているか尋ねたところ、9割以上の人が「テレビニュース」、5割弱の人が「新聞（紙面）」、「インターネットのニュース・トピックス」からの情報が減っていると回答しています。

【図9】

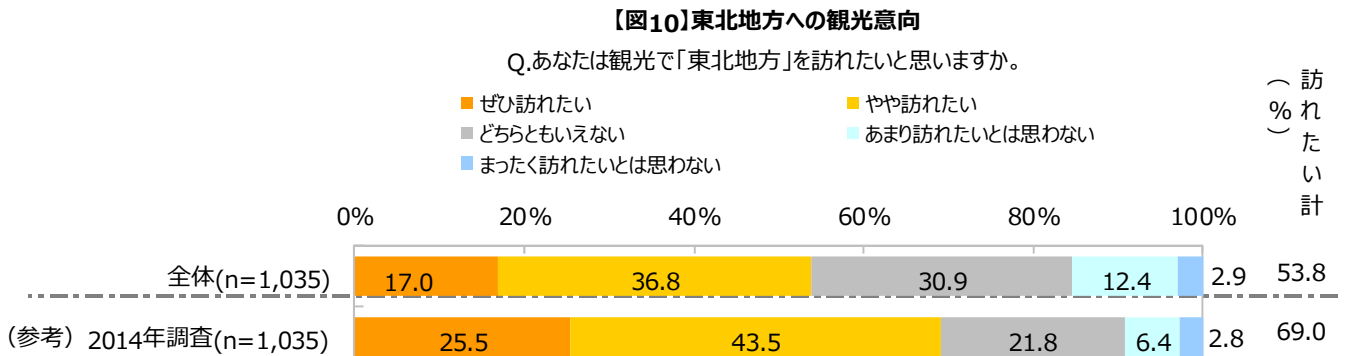


#### IV-1 東北地方への観光意向

##### ■ 東北地方に訪れたいと思っている人は5割強、昨年調査に比べ15ポイント減少

東北地方を観光で訪れてみたいか尋ねたところ、「訪れたい」（ぜひ訪れたい+やや訪れたい）と回答した人は54%となっています。

昨年の調査と比較すると、訪れたいと回答した人の割合が15ポイント減少していることから、東北地方に対する関心が薄れていることが観光意向においても反映されていることが推察されます。【図10】



## IV-2 東北地方で行ってみたい・行ったことがある・おすすめしたい観光地

### ■ 行ってみたい東北地方の観光地：1位「中尊寺」、2位「松島」、3位「蔵王温泉」

東北地方で行ってみたいところでは「中尊寺」が30%で最も高く、次いで「松島」が29%、「蔵王温泉」が27%でした。一方、行ったことがあるところでは「松島」が25%で最も高く、次いで「中尊寺」が21%、「十和田湖」が20%となっています。また、人におすすめしたい観光地では「松島」「奥入瀬溪流」「中尊寺」が10%以上で上位3を占めています。【図11】

【図11】行ってみたい・行ったことがある・おすすめしたい観光地

Q.あなたは、下記の東北地方の観光地の中で、(1) 行ってみたいところ、(2) 行ったことがあるところ、(3) 人におすすめしたいところをお知らせください。(複数回答)

#### ◆行ってみたい観光地

| 順位 | 観光地 (n=1035)            | %    |
|----|-------------------------|------|
| 1  | 中尊寺 (西磐井郡平泉町)           | 30.3 |
| 2  | 松島 (宮城郡松島町)             | 28.5 |
| 3  | 蔵王温泉 (山形市)              | 26.5 |
| 4  | 十和田湖 (十和田市)             | 26.2 |
| 5  | 乳頭温泉郷・田沢湖温泉 (十和田・八幡平)   | 25.9 |
| 6  | 三陸鉄道リアス線                | 24.7 |
| 7  | 八甲田温泉・酸ヶ湯温泉 (青森市)       | 23.2 |
| 8  | 弘前公園・弘前城 (弘前市)          | 21.8 |
|    | 十和田湖温泉郷・十和田湖湖畔温泉 (十和田市) |      |
| 10 | 奥入瀬溪流 (十和田市)            | 21.5 |
| 11 | スパリゾートハワイアンズ (いわき市)     | 21.1 |
| 12 | 花巻温泉郷 (花巻市)             | 20.5 |
| 13 | 仙台城跡 (青葉城址) (仙台市)       | 18.1 |
| 14 | 田沢湖 (仙北市)               | 16.4 |
| 15 | 鳴子温泉郷 (大崎市)             | 16.1 |
| 16 | 秋保温泉 (仙台市)              | 16.0 |
| 17 | 小岩井農場まきば園 (岩手郡雫石町)      | 15.7 |
| 18 | 若松城 (鶴ヶ城) (会津若松市)       | 15.0 |
| 19 | 銀山温泉 (尾花沢市)             | 14.8 |
| 20 | 特別史跡 三内丸山遺跡 (青森市)       | 13.8 |

#### ◆行ったことがある観光地

| 順位 | 観光地 (n=1035)            | %    |
|----|-------------------------|------|
| 1  | 松島 (宮城郡松島町)             | 25.2 |
| 2  | 中尊寺 (西磐井郡平泉町)           | 20.5 |
| 3  | 十和田湖 (十和田市)             | 19.8 |
| 4  | 仙台城跡 (青葉城址) (仙台市)       | 16.1 |
| 5  | 奥入瀬溪流 (十和田市)            | 15.8 |
| 6  | 五色沼 (北塩原村)              | 15.4 |
| 7  | 蔵王温泉 (山形市)              | 13.2 |
| 8  | 若松城 (鶴ヶ城) (会津若松市)       | 12.9 |
| 9  | 小岩井農場まきば園 (岩手郡雫石町)      | 12.2 |
| 10 | 弘前公園・弘前城 (弘前市)          | 10.8 |
| 11 | 田沢湖 (仙北市)               | 9.8  |
| 12 | お釜噴火口 (蔵王町)             | 8.6  |
| 13 | 毛越寺/庭園 (西磐井郡平泉町)        | 8.5  |
| 14 | 十和田湖温泉郷・十和田湖湖畔温泉 (十和田市) | 8.2  |
| 15 | 秋保温泉 (仙台市)              | 8.0  |
| 16 | 浄土ヶ浜 (宮古市)              | 7.9  |
| 17 | スパリゾートハワイアンズ (いわき市)     | 7.8  |
| 18 | 花巻温泉郷 (花巻市)             | 7.7  |
| 19 | 鳴子温泉郷 (大崎市)             | 7.6  |
| 20 | 龍泉洞・龍泉新洞科学館 (岩泉町)       | 7.3  |

#### ◆人におすすめしたい観光地 (全国での調査)

| 順位 | 観光地 (n=1035)       | %    |
|----|--------------------|------|
| 1  | 松島 (宮城郡松島町)        | 11.6 |
| 2  | 奥入瀬溪流 (十和田市)       | 10.7 |
| 3  | 中尊寺 (西磐井郡平泉町)      | 10.5 |
| 4  | 五色沼 (北塩原村)         | 7.3  |
| 5  | 十和田湖 (十和田市)        | 6.3  |
| 6  | 若松城 (鶴ヶ城) (会津若松市)  | 5.5  |
| 7  | 蔵王温泉 (山形市)         | 5.2  |
| 8  | 弘前公園・弘前城 (弘前市)     | 4.4  |
| 9  | 小岩井農場まきば園 (岩手郡雫石町) | 4.3  |
|    | 仙台城跡 (青葉城址) (仙台市)  |      |

**Q. 東日本大震災からもうすぐ4年が経過します。この4年を通じて感じたこと、今までのこと、今後についてなどあなたのご意見・お気持ちをご記入ください。**

**【東北3県】**

- ・震災を境に、生活が一変してしまった方々が多くいます。その深い悲しみは私には到底理解出来ないものかも知れません。あの震災を通じて、災害の恐怖、命の尊さ、たくさんの事を学びました。しかし、私たちはそのいつ変貌するかもわからない自然とつきあっていかなければならないのです。近いうちに必ず来ると言われている次の大規模地震に備え、まず今出来る事からしっかり備えることが大事だと思います。【宮城県・女性・40歳】
- ・震災時4ヶ月だった息子も4歳になり春にはお兄ちゃんになった。年月の流れにも伴い岩手に住んでいても内陸と沿岸の震災に対する温度差が大きくなっていると思う。沿岸の復興が早く進むことを祈っています。【岩手県・女性・29歳】
- ・震災後、東京でのサラリーマンをやめ、故郷の福島で生活スタート。整体師として、修行しながら働いているけど、周りの人々見ていて、ぜんぜん景気が良くない。また、郡山市に住んでいるけど、これから放射線の除染始まる状況。復興進んでいますと言ったって凄く遅い。自分が生きているうちには復興したって思えないと思う。【福島県・男性・52歳】

**【その他の都道府県】**

- ・4年たっても未だに復興していない地域などがあるはずだが、ニュースなどで取り上げられないので状況が良くわからないから、ニュースなどで少しでも報道すべき【北海道・男性・23歳】
- ・復興のためにたくさんの人々が協力しているのを見て、人の温かさを感じ、自分も何かしたいと思うようになった。まだまだ元に戻るまでには時間がかかると思うので少しでも協力していきたい。【大阪府・男性・23歳】
- ・正直、私の中では風化しつつある。知人や友人など被害にはあっていないのでなおさら。ただ、同じ日本人が困っているのに何もできない、しょうとしない自分がいるのも事実。【神奈川県・男性・27歳】
- ・四年があつという間に感じられるのは、私が直接の被災地よりもずっと早く、震災が起こる前の日常に復帰することができたからなのかもしれません。日常が変わり、新しいものを日常とすることになった方もたくさんいるのだと思います。その事実を、ただただ考えるばかりです。【東京都・男性・28歳】
- ・風化はある程度仕方ないが、原発の問題も含めて情報は減ってきていると思う。また、被災地以外の人の中には、「4年も経つのに、まだ立ち直れないのか」と思ってしまう人もいると思うので、4年間で出来たこと出来なかったこと、達成したこと不足していることを定期的に伝えるメディアや自治体の情報発信が必要だと思う。【東京都・男性・33歳】
- ・20年前に学生時代で阪神大震災にあい、10年前の中越地震で被害にあい、7年前の中越沖地震を体験して、助けてもらった思いを東日本地震と同時に長野新潟県境地震でも震災被害になった方々に支援で恩返しをした気分になり、互いに助け合う意欲を大切にしています。他人事のように無視する人がいますが、必ず恩は返ってくる事を知ってほしいです。【新潟県・男性・42歳】
- ・震災については皆忘れていないと感じるが、これから起きる南海地方の大地震について、防災知識や現に防災を試みている人は少ないと思う。過去を忘れないことも必要であるが、防災について、現に身を以て体験したであろう東北地方の方が自ら発信すべきであると感じる。【大阪府・女性・22歳】
- ・あれほど被害が起きた地震なのに、やはり時間がたつと風化してしまう。被災地の人たちにとっては忘れられない事だが、これは日本全体がしっかりと心の中に留めておかなければならないものだと思う。メディアがあるのだから、やはり取り上げて現在の状況や取り組みなどを報道し続けるべきだと思う。また自分も忘れてはいけないと、とどめていきたい。【静岡県・女性・28歳】
- ・震災があつてからあつという間に4年が経ち、少しずつ復興に向かっているように思いますが、実際の被災地はまだまだ手をつけていない所があると聞きます。わずかながら寄付などもさせてもらっていますが、この寄付金をもっと効率よく被災地の

方々の支援に繋がってほしいなと思います。【沖縄県・女性・28 歳】

- ・日に日に大震災の情報が少なくなっているような気がします。特に原発に関しては強く感じます。子供が小さいので、今後も私から子供に伝える必要があります。メディアでの情報をはじめ、忘れないようにもっと情報を流してほしいです。【和歌山県・女性・37 歳】
- ・その時は報道で毎日取り上げられていた東日本大震災だが、人間は自分の身にふりかからないとなかなか現実の不便さ悲慘さを感じ取る事が出来ないで、自分が通常の生活が出来る事に感謝し、物を大切に使う事を心がけるようになりました。まだまだ進まない復興を少しでも国民全体で力になれる事があれば良いと思う。【愛知県・女性・42 歳】
- ・震災のとき徒歩で帰れない距離の職場にいたため、自宅に帰れず家族の安否も確認できず(通話の制限がかかっていた)危機感を覚えた。徒歩で帰れる職場で働きたいと強く思った。【神奈川県・女性・46 歳】
- ・阪神淡路大震災の教訓が役立っていると感じているが、東日本は 4 年たってもまだ、メディアも話題にするが、阪神淡路大震災は、20 年目ということで今年また、クローズアップされているが、節目も大事だが、同じように発信して欲しいところもある。【兵庫県・女性・50 歳】
- ・東日本大震災は特別な震災だだと思います。福島原発という、日本だけではすまされない、他国にも影響がおよぶかもしれないという大きな規模の人災があったからです。本当に防災を考えるなら、まず人災を起こさないということは重要ではないでしょうか。そして、同じ失敗を起こさないように真剣に安全に取り組むということが、防災につながると思います。【静岡県・女性・52 歳】
- ・震災後、3 回東北地方を旅行しているが、昨年陸前高田を訪れたときにも、まだ駅も駅の周囲もただの空き地となっており、非常に厳しく切ない思いをした。【神奈川県・女性・67 歳】
- ・阪神淡路大震災後 20 年が経ちますが、見事な復興を遂げています。東日本は原子力と言う難しい問題がありますが、政府も国民も何が一番いい事なのかを真剣に考えながら、金銭的にも精神的にも協力し合えば、必ずいい方向に復興できると信じています。東北に世界のお金を落として貰えるように、東北の観光地の蘇りを願っています。【岡山県・女性・67 歳】
- ・東日本大震災は、考えられない程の大災害であった。東海地方では、ほとんど影響がなかったため、あまり深刻な気持ちがない。しかし、もし東海地方に同じような規模の地震が起きたなら、とにかくできるだけ高い高台に逃げることを即座に考える必要があります。今、いる場所が安全だとは考えないことだ。即、行動が必要です。【愛知県・男性・53 歳】
- ・あんなに大規模な震災があつてから、もう 4 年も経つのか。私の地域は多少の揺れくらいで被害はなかったため、テレビなどの情報で本当に驚き衝撃を受けたことは鮮明に覚えている。私にできることはわずかしかなが、少しでも早い復興を祈っている。【岐阜県・女性・25 歳】
- ・ある日突然、生活が一変するかもしれないと痛感した。東北はとても良いところなので、応援したい。四年たつが、前を向いて歩いている方と、そうではない方とは、かなりの差が出ていると思う。【長野県・女性・36 歳】
- ・人とかかわりが欠けていた姿を呼び戻すきっかけになったと思う。この震災を教訓に困っているひとにあたたかい手を差し伸べる優しさ、勇気など、本来の人としての在り方を気づかせてもらった。【富山県・女性・47 歳】
- ・三十数年前に盛岡で暮っていたことがあり、三陸釜石、宮古等にも年に何回かは訪れたことがある。テレビの震災関係ニュースで知った景色が出てくると、今どうなっているのかなーと思う。復興と同時にまた同じ震災が起ることもあり得るので対策を怠らないで欲しい。【福岡県・女性・64 歳】
- ・自分は東北に住んではいなかったけれども、茨城在住なので一応被災地という事になります。震度 6 強という大地震を体験して、本当に怖かったです。今まで大きな災害にあつたことがなかったので、余計に恐ろしいと思いました。東北の方達は今でも大変な思いをしていると思います。仮設住宅に住んでらっしゃる方も多くいるのではないのでしょうか。復興がどんどん進む事を切に願っています。【茨城県・女性・65 歳】